



井水鹿を祭る井光神社 川上村井光で

(所在地) 川上村井光34
 (祭神) 吉野始祖井光(井水鹿)
 (交通) 近鉄・大和上市駅からゆう
 ゆうバスで武木下車、徒歩

約50分
 (拝観) 境内自由
 (駐車場) 有り(無料)
 (電話) 0747・52・2079

井光神社 (川上村)

井光神社は吉野川源流の川上村の井光集落に鎮座します。祭神は吉野始祖井光(井水鹿)です。

征で熊野から吉野に入った際、宇陀への進路を案内します。井水鹿について「尾生る人、井より出で来たりき。その



「古事記」によると、井水鹿は、神武天皇(神倭伊波礼毘古命)が東

井に光ありき」(岩波文庫版)と書かれ、国土の各地で活躍する神々

を意味する国津神を名乗ります。

井水鹿は神武天皇を案内する途中、御船山

神武東征ゆかり祭神 記紀登場

の尾根に設けた拜殿で波波迦(ウワミズザクラ)の木を燃やして鹿の骨で占い、御船の滝の上部に宮柱を立て天乃羽羽矢を納めて進軍の勝利を祈願したとされています。井水鹿は「日本書紀」では井光と表記されます。

が並び、最も古いのは1686(貞享3)年寄進のもので、境内は手入れが行き届き、地区の人たちの思いが伝わってきます。

神社の正面に立つと大きな杉と拜殿が印象的です。本殿後方に磐座とみられる高さ約1.5mの巨岩が露出しています。境内には数多くの石灯籠

神社から御船の滝までハイキングコースが整備され、コース沿いには井水鹿を祭る祠、現れたとされる井戸の跡などがあり、伝説ゆかりの地を巡ることが出来ます。

(奈良まほろばソムリエの会会員 奥田八尋)